

報道関係各位

2019年9月2日  
株式会社ストライプインターナショナル  
株式会社キャン

## 8,446 人でごみ箱ゼロチャレンジ

-日常のごみを「可視化」する体験から、「エシカル」マインドを醸成-  
全スタッフ 8,446 人<sup>1</sup>でごみを徹底分別し、ごみゼロを目指す取り組みを開始

株式会社ストライプインターナショナル（本社：岡山県岡山市、代表取締役社長：石川康晴）と株式会社キャン（本社：岡山県岡山市、代表取締役社長：立花隆央）は、国連の「持続可能な開発目標（SDGs）※」に本格的に取り組むにあたり、全国のオフィス、店舗からごみ箱をなくし、徹底分別することで「エシカル」マインドを醸成させるチャレンジを行います。

日常からごみ箱をなくすという不便さを体験し、これまで何気なく捨てていたごみを徹底分別して可視化することで、ストライプインターナショナルグループ 8,446 人ひとりひとりの意識が変わり、接客や商品企画の際に、より「エシカル」の視点に立った展開を行っていくことがねらいです。



社内掲示ビジュアル

<sup>1</sup> ストライプインターナショナル、キャン、ストライプ部門の正社員、パート・アルバイトの従業員数

当グループは2019年度の経営戦略のひとつとして、SDGsを掲げております。これまで力を入れてきた縫製工場への人権デューデリジェンスやAIを活用した最適生産量を維持する仕組み、目標廃棄率0.2%に向けた取り組み等、地球環境に配慮した素材の商品を企画しております。

2019年5月からお買い物バッグの有料化をスタートさせ、メーカーと消費者がともに環境保全を考える取り組みを進めていますが、お客様と接する従業員の意識もより高めていくべく、この度ストライプインターナショナルグループ全国のオフィス、店舗で一度ごみ箱を撤去し、日常業務で出ているごみの種別を可視化させる取り組みを行います。その後、問題解決策を全社で考えてまいります。

マイボトルや梱包材の再利用など、日常の生活や業務に根付いた「エシカル」を加速させ、「脱プラ社会」や「ごみゼロ」の世界を目指し、美しい自然やまちづくりにつなげていきます。

### ■ストライプごみ箱ゼロチャレンジ

時期：2019年9月1日（日）～30日（月）

場所：岡山・東京のオフィス、全国のアパレル約1,000店舗

内容：ペットボトル禁止、ごみの徹底分別

どのようなごみがどのくらい出ているか

各店で把握し、業務上の問題発見、

その後の問題解決につなげる

目的：SDGsアクションの一環

当たり前の習慣や行動を変え、

接客や新たな業務に反映させていく



※SDGs Sustainable Development Goals：

持続可能性（サステナビリティ）の新たな世界標準。

で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で掲げられた

世界全体の経済・社会・環境のあり方についての17目標169ターゲット。

ストライプインターナショナルSDGs動画 <https://youtu.be/I5clwhU7zpc>

<ストライプSDGsアクション>

### ■ストライプインターナショナルグループ

ショッピングバッグ有料化・紙製化～SDGsの一環として 脱プラスチック加速～

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/00000060.000036659.html>

### ■「ファッションにもマイバッグの習慣を」

8月1日から全ブランドでオーガニックコットン素材のエコバッグを展開

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000103.000036659.html>

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社ストライプインターナショナル 広報部

[public-info@stripe-intl.com](mailto:public-info@stripe-intl.com)

TEL:03-3524-1502 FAX:03-3524-8341